

ひらか 連携ニュース

今年度も地域医療機関との病診・病病連携の推進・強化を目的に、「連携フォーラム ひらか」を開催いたしました。今年度も当院と地域医療機関の3名講師の方々から貴重な講演をいただき、病診連携・多職種連携の重要性を再認識できました。今回は、連携フォーラムについてご報告いたします。

第8回 連携フォーラム ひらか 開催！

日時：令和1年6月28日（金）18：30～

場所：横手セントラルホテル ラポート

参加者：地域医療機関の医師 22名 院内関係者 39名 計 61名

プログラム

1. 開会挨拶 平鹿総合病院 院長 齊藤 研
2. 講演
 - ・ 心臓病患者教育サポート
～多職種連携平鹿オリジナルDVD～
平鹿総合病院 心臓リハビリテーション指導士
看護主任 鍛冶 優子
 - ・ 糖尿病医療連携について
平鹿総合病院 消化器・糖尿病内科
科長 三ヶ田 敦史
 - ・ そんな、開業医のひとりごと
～外野スタンドから観て思うこと～
八木橋医院 院長 塚本 茂樹
3. 意見交換
 - ・ 胃ESD地域連携パスについて
平鹿総合病院 消化器・糖尿病内科
診療部長 堀川 洋平



平鹿総合病院
看護主任
鍛冶 優子さん



平鹿総合病院
科長
三ヶ田 敦史医師



八木橋医院
院長
塚本 茂樹医師



今回のフォーラムも、大変有意義な内容であり、楽しく参加できたと好評をいただきました。

フォーラムでは、鍛冶主任より心臓病患者教育のためにDVDを作成した経緯や今後の課題について、三ヶ田先生より糖尿病専門医が少ない県南地域での医療連携の重要性や当院への紹介のタイミングについて講演いただきました。また八木橋医院の塚本先生より、当院の診療を野球に例え、ベンチにいた時と外野席で応援している現在とでは、自分の役割や責任が大きく変わったこと、外野席から見た当院の実情、当院に対する要望等について、シビアなご意見を大変ユーモラスに伝えていただきました。

逆紹介の推進や紹介患者のスムーズな受け入れ、紹介患者に対する速やかな返書・治療経過の報告等、貴重なご意見を今後の病診連携に反映していきたいと思っております。

アンケート結果

- ・塚本先生が指摘された“外来業務の縮小”を病院全体の課題として考えなければならないと思う。
- ・開業医の先生方が感じている問題を解決していくことで、病院と開業医がwin-winの関係になれればいいと本当に思う。

<今後、希望するテーマ>

- ・放射線治療の現状
- ・今後の呼吸器内科の展望について
- ・病院から開業医へのお願い、紹介の際困ったこと等
- ・退院支援看護師の業務紹介、事例紹介